



おもひろがる心をいつまでも

今年度になって初めての大学合格内定ができました。Nさんが学習院大学へ千葉女子高の指定校推薦で進むことになりました。地道な努力が実ったのですが、高校選びがその後の進路選択にも関わってくることを実感しました。そういえば6年前の進路相談の時に普通の高校を目指すのではなく商船高専に行きたいと言い出して、瀬戸内海の弓削島にある「弓削商船高専」に進学したT君は、訓練航海も終えて11月から見事に大手フェリーの乗組員です。千葉の実家に戻ってすぐに挨拶に来てくれましたが、たくましい船乗りらしくなっていました。中3のみなさんは先日の公立高校進学相談会、そして今月のスクールフェアを活用し、どうか広い範囲から自分の目とアタマで志望校を見つけてください。今月下旬には中3本人と保護者の方との三者面談で進路のご相談をしていく予定です。

さて、イグ・ノーベル賞を10年連続日本人が受賞というニュースをご存知でしょうか。そもそもノーベル賞に「イグ」がつくといったいどんな賞になるのかと思う人も多いでしょう。世の中を笑わせ、考えさせた研究や業績に贈られる賞なのですが、単なるギャグではなく、きちんとした学術研究に対してハーバード大学を会場に授与されるものです。ただそのテーマや着眼点が堅苦しいものではなく、私たちにもなじみのあるものであることが特徴です。今年の実賞は立命館大学の東山教授と大阪大学の足立教授による、「股のぞき効果」の研究でした。京都府には「股のぞき」をして景色を楽しむ、日本三景の一つの「天橋立」がありますから、より身近なテーマだったのでしょう。以前の受賞ではバナナの皮を踏むと転びやすいのはなぜかを力学的に証明した研究もありました。あくまで本格的な研究成果に対しての賞なのでハードルは高いですが、みなさんだってふだんから何かをおもしろがることはできるでしょう。その心を忘れずにいればいずれは世界に注目される研究だってできるかもしれません。そこまでいかななくても、気になることへの興味が広い意味での勉強の第一歩。すべてはそこから始まります！